

— 平成 29 年度赤十字血液シンポジウム —

# 第 29 回北海道輸血シンポジウム

## テーマ 「 血液事業・細胞治療研究の進展 」

開催日: 平成 29 年 7 月 7 日(金) ・ 8 日(土)

会 場: 日本赤十字社北海道ブロック血液センター 3 階研修室  
(札幌市西区二十四軒 2 条 1 丁目 1 番 20 号)

### ➤ 7 月 7 日(金)

13:00 - 13:05 開会の挨拶 卒禮 一秀 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)

13:05 - 13:20 I 基調講演 司会: 高本 滋 (前日本赤十字社北海道ブロック血液センター)  
「北海道における血液事業の歩み」

卒禮 一秀 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)

13:20 - 15:00 II 血液型検査・副作用検査に応用可能な検査技術

司会: 谷 慶彦 (大阪府赤十字血液センター)  
石丸 健 (日本赤十字社血液事業本部)

1. 血液型遺伝子検査で同定した cisAB 型  
村井 良精 (札幌医科大学附属病院 検査部)
2. フローサイトメトリーを用いたマクロファージ貪食試験  
宮崎 孔 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)
3. 遺伝子組み換え技術を用いたモノクロナール抗体產生株の樹立  
飛田 隆太郎 (日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター)
4. 抗 Jr<sup>a</sup> の臨床的意義  
伊藤 正一 (日本赤十字社東北ブロック血液センター)
5. TRALI 関連症例から見いだされた抗 Nak<sup>a</sup> 陽性献血者の CD36 遺伝子解析  
安藤 萌 (日本赤十字社血液事業本部 中央血液研究所)

15:00 - 15:40 トピックス① 司会: 藤村 吉博 (日本赤十字社近畿ブロック血液センター)

血栓症の病態と検査: 最近の話題と今後の展望  
藤井 聰 (旭川医科大学 臨床検査医学講座)

15:40 - 15:55 休憩

15:55 - 17:15 III 血小板製剤ー新しい製剤をめざしてー

司会: 東 寛 (旭川医科大学小児科学講座)  
遠藤 正浩 (日本赤十字社血液事業本部)

1. 洗浄血小板 - 北海道ブロックにおける技術協力実績と洗浄血小板-LR「日赤」の品質一  
内藤 祐 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)
2. 成分採血装置で採取した置換血小板の品質  
平山 順一 (日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所)
3. Ex vivo 細胞増幅に用いられる血小板製剤由来 platelet lysate の調製  
若本 志乃舞 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)
4. 病原体不活化(感染性因子低減化)  
五十嵐 滋 (日本赤十字社血液事業本部)



## ➤ 7月8日(土)

9:00 - 9:40 オピニオン

司会: 池田 久實 (北海道赤十字血液センター)

なくならない輸血過誤～どこに問題が？～

入田 和男

(日本赤十字社九州ブロック血液センター)

9:40 - 11:40 IV 輸血・移植医療に役立つ先端研究

司会: 高橋 聰 (札幌医科大学医学部 感染制御・臨床検査医学講座)

松崎 浩史 (福岡県赤十字血液センター)

1. 献血者データからみた HTLV-1 水平感染の実態

佐竹 正博 (日本赤十字社血液事業本部)

2. 血液事業における研究活動

永井 正 (日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター)

3. 血栓性微小血管障害症(TMA)と血漿交換

藤村 吉博 (日本赤十字社近畿ブロック血液センター)

11:40 - 13:00 昼 食

13:00 - 13:40 日本輸血・細胞治療学会北海道支部特別講演

司会: 牟禮 一秀 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)

間葉系幹細胞を含めた細胞治療

室井 一男 (自治医科大学附属病院輸血・細胞移植部)

13:40 - 14:20 トピックス②

司会: 紀野 修一 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)

科学的根拠に基づいた赤血球製剤の使用ガイドライン

米村 雄士 (熊本大学医学部附属病院輸血・細胞治療部)

14:20 - 15:20 V 輸血の安全性と輸血部門の役割

司会: 生田 克哉 (旭川医科大学内科学講座)

遠藤 輝夫 (札幌医科大学附属病院検査部)

1. 輸血用血液の副作用情報

森下 勝哉 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)

2. 輸血過誤防止対策の取り組み

河原 好絵 (旭川医科大学病院 臨床検査・輸血部)

3. 緊急時に求められる輸血検査体制

三浦 邦彦 (手稲済仁会病院 臨床検査部)

15:20 - 15:25 閉会の挨拶

山本 哲 (北海道赤十字血液センター)

参加は無料です。参加される方は、別紙により事前に参加申込をお願いします。

☆ 本シンポジウムは、次の制度の単位となります。

日本輸血・細胞治療学会が指定する認定制度、日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度もしくは日病薬病院薬学認定薬剤師制度のどちらか、北海道医師会認定生涯教育制度※、日本臨床衛生検査技師会生涯教育研修制度※※

※ 本シンポジウムは北海道医師会の承認を得て、北海道医師会認定生涯教育講座(3.5 単位)、カリキュラムコード: 7(医療の質と安全)・9(医療情報)・10(チーム医療)として開催します。

生涯教育制度の取得単位登録には、氏名以外に「医籍登録番号」が必要です。受付時に忘れずにご記入願います。

なお、ご記入いただきました情報は、本講演会実施報告書の作成以外には使用しません。

※※ 日臨技生涯教育研修制度	一般教育研修課程	専門教科	点数 30
----------------	----------	------	-------

主 催: 日本赤十字社北海道ブロック血液センター、日本輸血・細胞治療学会北海道支部、北海道輸血医療研究会  
後 援: 北海道、北海道臨床衛生検査技師会、札幌市医師会

平成 29 年度赤十字血液シンポジウム  
-第 29 回北海道輸血シンポジウム-  
参加申込書

送信先：北海道輸血シンポジウム事務局 行  
(日本赤十字社北海道ブロック血液センター 総務部 総務企画課)  
**FAX : 011-613-4131**

日 時：2017 年 7 月 7 日（金）13:00～17:15

8 日（土） 9:00～15:25

会 場：日本赤十字社北海道ブロック血液センター3 階研修室  
(北海道札幌市西区二十四軒 2 条 1 丁目 1-20)

テーマ：『血液事業・細胞治療研究の進展』

施設名：\_\_\_\_\_

連絡者：\_\_\_\_\_ TEL：\_\_\_\_\_

参加者氏名	所 属	職 種 ( ○をつけて下さい )
		医師、薬剤師、検査技師、看護師、その他

※開催準備の都合上、**6月23日(金)までに** FAX にてお申し込み下さい。ご都合により期日までの申し込みができない場合は、シンポジウム当日、直接会場にお越し下さい。

【お問い合わせ】： 北海道輸血シンポジウム事務局  
(日本赤十字社北海道ブロック血液センター総務部総務企画課)  
〒063-0802 北海道札幌市西区二十四軒 2 条 1 丁目 1 番 20 号  
TEL:011-613-6652 FAX:011-613-4131  
E-Mail:hrcbc@hokkaido.bc.jrc.or.jp